



安全データシート

Page 1 of 7

強力粘着剤はがし 220ml

SDS No. : 471558

v001.2

改訂: 24. 07. 2015

発行日: 27. 07. 2015

1. 化学物質等及び会社情報

製品コード : 1846469
製品名 : 強力粘着剤はがし 220ml

会社名 :

ヘンケルジャパン株式会社
東京都品川区東品川2-2-8
スフィアタワー天王洲 14F
140-0002
電話番号 : +81 (45) 758-1820
FAX番号 : +81 (45) 758-1826

2. 危険有害性の要約

GHS分類 :

<u>危険有害性クラス</u>	<u>危険有害性区分</u>	<u>標的臓器</u>
可燃性/引火性エアゾール	区分 1	
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 2A	
皮膚感作性	区分 1	
特定標的臓器毒性 - 単回暴露	区分 3	中枢神経系
水生環境有害性(急性)	区分 2	
水生環境有害性(長期間)	区分 2	

GHSラベル要素:

絵表示:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:	H222 極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール H229 加圧容器：熱すると爆発のおそれ。 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ H319 強い眼刺激 H336 眠気又はめまいのおそれ H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性
安全対策	P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。 P211 裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。 P251 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。 P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 P264 取扱い後はよく手を洗うこと。 P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 P273 環境への放出を避けること。 P280 眼保護具/顔面保護具を着用すること。 P280 防護手袋を着用する。
応急措置:	P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。 P304+P340+P312 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分がわるいときは医師に連絡すること。 P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。 P337+P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。 P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 P391 漏出物を回収すること。
保管:	P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 P405 施錠して保管すること。
廃棄:	P501 廃棄するときは、適用法令、および製品特性に従い、適切な処理および廃棄施設に内容物/容器を廃棄すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物： 混合物
化学特性： 洗浄溶剤

危険有害成分及び濃度

成分	wt%
2-プロパノール	15 - 25 %
酢酸 n-ブチル	15 - 20 %
テルペン系炭化水素	5 - 15 %
固形パラフィン	5 - 10 %
プロパン	15 - 25 %
n-ブタン	10 - 15 %
イソブタン	10 - 15 %

4. 応急処置

- 皮膚にかかった場合：** 直ちに石けんと水で十分に洗うこと。
発症したり症状が持続する場合、医師の診察を受けること。
- 眼に入った場合：** 眼に入った場合、直ちに水で15分間注意深く洗うこと。医師の診断、手当てを受けること
- 飲み込んだ場合：** 直ちに医師の診察を受けること。
無理に吐かせないこと。
- 吸入した場合：** もし吸入した場合、直ちに傷病者を新鮮な空気のところに移すこと。
発症したり症状が持続する場合、医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

- 消火剤：** 水スプレー（霧）、泡、乾燥化学物質または二酸化炭素。
- 火災時の分解物質：** この製品は分解で一酸化炭素、二酸化炭素および／または低分子量炭化水素を放出させる。
- 保護具：** 全身保護服を着用すること。
自給式呼吸器を着用すること。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項：** 皮膚および眼への接触を避けること。
8項目の注意を参照すること。
- 環境に対する注意事項** 下水管／地表水／地下水に捨てないこと。
- 除去方法：** 不活性な材質のもので吸収する（例えば、砂、シリカゲル、酸性バインダー、一般的なバインダー、おがくず）。
13項に基づいて汚染された製品を廃棄物として処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い** 作業場が適切に換気されていることを確かめる。
直火および点火源を避けること。
- 保管：** 直火へさらさないこと。
密封された元の容器に保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

成分	日本産業衛生学会	ACGIH
2-プロパノール	400 ppm 980 mg/m ³ CEILING	200 ppm TWA 400 ppm TWA
酢酸 n-ブチル	100 ppm 475 mg/m ³ TWA	150 ppm TWA 200 ppm TWA
テルペン系炭化水素	(blank)	(blank)
固形パラフィン	(blank)	2 mg/m ³ TWA
プロパン	(blank)	
n-ブタン	500 ppm 1,200 mg/m ³ TWA	1,000 ppm TWA
イソブタン	500 ppm 1,200 mg/m ³ TWA	1,000 ppm TWA

設備対策: 製品の取り扱い時に発生する蒸気及びミストを効果的に取り除き、蓄積を防止する為に、局所及び全体の排気設備を設ける。

保護具:

- 呼吸用保護具:** 換気が十分にできない場合、適切な呼吸装置を着用すること。
- 眼の保護具:** しっかり密着する安全ゴーグル
- 皮膚及び身体の保護具:** 耐薬品性で、手袋とエプロンかボディースーツのどちらかを含む不浸透性衣類を着用し、皮膚接触を防止する。

9. 物理的及び化学的性質

形状 : 液体
色: 透明
臭い: 溶剤臭
pH : 該当なし
沸点: 83 ° C (181.4 ° F)
引火点: 11.70 ° C (53.06 ° F)
比重 : 0.8 g/cm³

10. 安定性及び反応性

安定性 :

化学的反応性 : 強酸化剤と反応する。

化学的安定性 : 常温常圧下においては安定

避けるべき条件 : 熱、ガス、火花および他の点火源。

危険有害な分解生成物 : この製品は分解で一酸化炭素、二酸化炭素および／または低分子量炭化水素を放出させる。

11. 有害性情報

成分	危険有害性クラス	危険有害性区分	ばく露経路	標的臓器
2-プロパノール	眼に対する重篤な損傷 /眼刺激性	区分2A		
	特定標的臓器毒性 - 単回暴露	区分3		中枢神経系
酢酸 n-ブチル	特定標的臓器毒性 - 単回暴露	区分3		中枢神経系
テルペン系炭化水素	皮膚刺激性	区分2		
	皮膚感作性	区分1		
	吸引性呼吸器有害性	区分1		
固形パラフィン	分類の必要なし			

12. 環境影響情報

成分	危険有害性クラス	危険有害性区分
テルペン系炭化水素	水生環境有害性(急性)	区分1
	水生環境有害性(長期間)	区分1

一般環境有害性情報 : 下水管／地表水／地下水に捨てないこと。

13. 廃棄上の注意

推奨廃棄方法 : 国及び地方自治体の規則に従って廃棄すること。

汚染容器包装の廃棄方法 : 廃棄処理は必ず法規制に従って行うこと。

14. 輸送上の注意

Marine transport IMDG:

Class: 2.1
Packing group:
UN no. : 1950
Label: 2.1
EmS: F-D,S-U
Seawater pollutant: P
Proper shipping name: AEROSOLS (limonene)

Air transport IATA:

Class: 2.1
Packing group:
Packing instructions (passenger) 203
Packing instructions (cargo) 203
UN no. : 1950
Label: 2.1
Proper shipping name: Aerosols, flammable (limonene)

15. 適用法令

労安法 :

名称等を通知すべき有害物 n-ブタン
2-プロパノール
酢酸 n-ブチル
固形パラフィン
イソブタン
名称等を表示すべき有害物 2-プロパノール
酢酸 n-ブチル
第2種有機溶剤等 2-プロパノール
酢酸 n-ブチル

消防法

第4類引火性液体, 第一石油類 非水溶性

毒劇物法 :

該当しない

PRTR 法 :

該当しない

高圧ガス保安法

n-ブタン
イソブタン
プロパン

16. その他の情報

発行日:

27.07.2015

注意:

この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。

ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含み、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる2次的・偶発的損害についての責任も拒否する。